

第2回米国イノベーション&スタートアップ調査団を5月に派遣

経済広報センターでは5月、米国のイノベーションの最新事情を調査するとともに、わが国企業と現地スタートアップ等との交流・連携を拡大すべく、ボストン、ピッツバーグにミッションを派遣する。現地では、次代のイノベーションをリードする企業を訪問するほか、大学等の研究者から最先端の知見の説明を受ける。マサチューセッツ工科大学(MIT) 産業学際会主催の「スタートアップ・エコシステム・カンファレンス」にも参加する。

わが国企業にとって、海外のハイテクスタートアップ等との協力は、ますます重要になっている。このため、同センターでは、昨年5月にもミッションを派遣、ボストン、シリコンバレーで計14社の幹部と意見交換した。加えて、今年1月には、MIT産業学際会との共催で、米国から、AI、IoT、ヘルステックなどのスタートアップ9社の幹部を招き、シンポジウムを開催した。5月に派遣されるミッションは、同センターの海外のイノベーターとの交流プロジェクト第3弾となる。

ボストンで参加するスタートアップ・エコシステム・カンファレンスは、MIT発のベンチャーが集結する一大イベント。各社が自慢の技術、アイデアを披露するとともに、起業家精神をさらに活性化するためのMITの取り組みなどが紹介される。今回、新たに訪問するピッツバーグは、グーグル、アップル、インテル、ウーバーなど、米国を代表するハイテク企業が拠点を構えるなど、近年、グローバル・イノベーション都市としての存在感を高めており、さまざまなスタートアップが生まれている。

ミッションの参加募集は3月上旬より行われる予定。問い合わせは同センター国際広報部まで
(電話 03-6741-0031)。

以上



昨年のMIT Startup Ecosystem Conferenceの様相(2017年5月3日)